

第4回診療体制検討部会 会議用資料

2024年10月22日

FOR DISCUSSION ONLY

前回協議結果の病院ビジョンへの 反映方針の確認について

前回協議結果の病院ビジョンへの反映方針の確認について

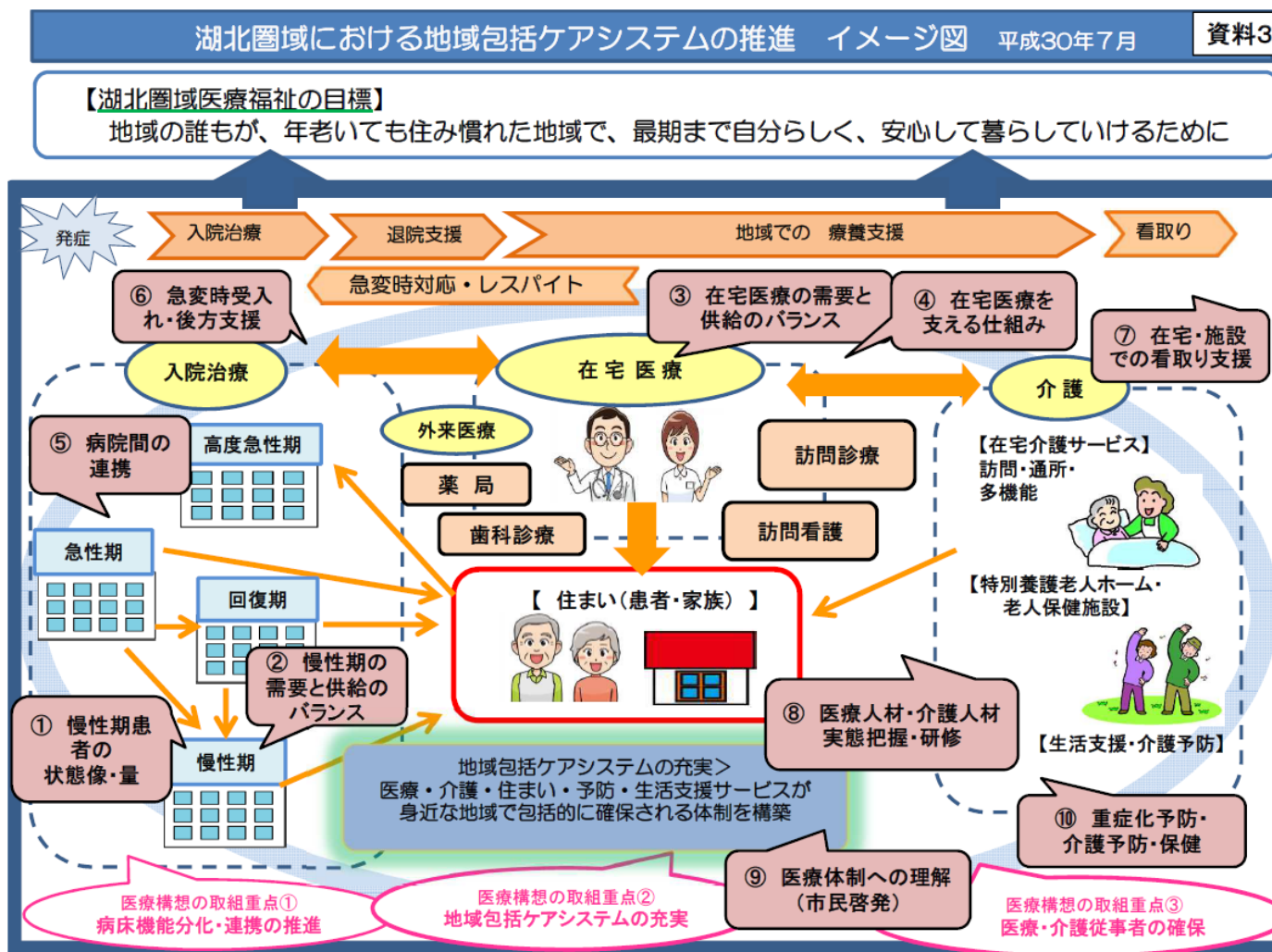
第2回湖北圏域病院運営検討協議会での協議結果を踏まえて、以下のとおり「病院ビジョン骨子」を策定しました。「病院ビジョン」では、5疾病6事業に係る補足を記載する等、市民にとってもわかりやすい内容を目指します。

「病院ビジョン骨子」

大項目	小項目	記載の方向性
本病院ビジョンの位置づけ		■ 現状の湖北圏域4病院の役割や医療機能を踏まえて、湖北圏域の医療をさらに充実させるため、長浜市立2病院及び長浜赤十字病院が再編後のABC病院として果たすべき役割を示す基本構想である点を記載する。
湖北圏域の現状分析	湖北圏域の医療動向	■ 湖北圏域における将来人口推計や入院・外来需要予測、救急搬送実績等を記載する。
	3病院の現状	■ 病院概要、診療実績、施設設備の状況、経営状況等を記載する。
3病院のめざす姿	医療機能	■ 滋賀県保健医療計画及び地域医療構想の内容や病院再編に関する全国的な動向も踏まえて、再編の必要性や市民にとってのメリットを記載する。 ■ 湖北圏域の地域包括ケアシステムの中での3病院の位置づけ等を踏まえ、再編後3病院がめざす医療機能を記載する。 ■ 3病院の医療機能の検討にあっても、保健医療計画及び地域医療構想との整合性をとりながら検討を進める。
	高度化する連携のあり方	■ 機能再編や病院経営の一体化を通じた3病院の急性期から回復期・慢性期までの切れ目のない連携や連携高度化による医療への影響（急性期患者に対する早期のリハビリ実施による在院日数の短縮化等）、及び、患者への影響（早期の社会復帰等）について記載する。また、3病院間のみならず、診療所や介護事業者との連携方針についても記載する。
	病床数	■ 再編後の3病院の医療機能、及び、需要予測をもとに想定される病床数を記載する。
	診療科	■ 再編後の3病院の医療機能をもとに想定される診療科を記載する。
	5疾病6事業	■ 地域包括ケアシステムの視点も踏まえて、5疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）6事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療・新興感染症）への3病院のかかわり方を記載する。
	在宅医療・介護	■ 湖北圏域の地域包括ケアシステムの中での3病院の位置づけ等を踏まえ、再編後の3病院の在宅医療及び介護へのかかわり方を今後協議していく旨を記載する。
	医療従事者の確保	■ 人員体制の整備方針を記載する。また、医療従事者確保に向け、医療機能や医療人材教育の視点も含めて、医療従事者を惹きつけるマグネット病院群となるための施策（人材交流・3病院それぞれの医療機能を活かした研修拠点化など）等を記載する。
	再編スケジュール	■ 病院ビジョン策定段階で想定される再編スケジュールを記載する。
施設等の整備	整備方針	■ 政策医療や救急医療を堅持し、地域医療の向上に向けた施設等の整備に関する基本的な方針や、想定される整備手法を記載する。
	3病院の施設設備	■ 救急機能や災害対応機能等、再編後の3病院のめざす姿をもとに、必要となる施設設備等を記載する。
	事業費（概算）	■ 3病院に必要な施設設備等をもとに、直近の建設単価等を加味して算定した事業費の概算を記載する。
	整備スケジュール	■ 3病院の施設設備の新設、改修内容等を考慮して、病院ビジョン策定段階で想定される整備スケジュールを記載する。
収支シミュレーション		■ 「現状推移パターン」と「3病院の再編パターン（再編完了後から10年程度）」の収支シミュレーション結果を記載する。

地域包括ケアシステムについて

長浜市では「地域の誰もが、年老いても住み慣れた地域で、最後まで自分らしく、安心して暮らしていけるために」地域包括ケアシステムを推進しています。具体的には「第9期ゴールドプランながはま21」（令和6年3月策定）に基づき、「在宅生活を支えるサービスの充実」、「相談・支援体制の強化」、「高齢者の人権尊重・保護」に取り組んでいます。



5 疾病 6 事業について

広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められる疾病である5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）や、医療の確保に必要な事業としての6事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療、新興感染症等の感染拡大時における医療）及び在宅医療について、これらに対する医療提供体制確保のための計画（医療計画）の策定が都道府県に義務付けられています。

医療計画における記載する疾病及び事業の考え方

○ 5疾病の考え方

- ・広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められる疾病（医療法第30条の4第2項第4号）

具体的な考え方

- ・患者数が多く国民に広く関わるもの
- ・死亡者数が多いなど政策的に重点が置かれるもの
- ・症状の経過に基づくきめ細やかな対応が必要なもの
- ・医療機関の機能に応じた対応や連携が必要なもの

⇒現行の5疾病は、**がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患**（医療法施行規則第30条の28）

○ 5事業[※] [救急医療等確保事業] の考え方

- ・医療の確保に必要な事業（「救急医療等確保事業」（医療法第30条の4第2項第5号）

具体的な考え方

- ・医療を取り巻く情勢から政策的に推進すべき医療
- ・医療体制の構築が、患者や住民を安心して医療を受けられるようになるもの

⇒現行の5事業[※]は、**救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療**

※令和6年度からは、「新興感染症等の感染拡大時における医療」を追加し、6事業。

- **在宅医療**については、医療法第30条の4第2項第6号の「居宅等における医療の確保に関する事項」として医療計画に定めることとされている。

診療科の検討

現状の各病院における診療科、センター等（1/2）

	市立長浜病院	長浜赤十字病院	湖北病院	セフィロト病院
内科系	■ 内科 ■ 消化器内科 ■ 呼吸器内科 ■ 循環器内科 ■ 神経内科 ■ 腎臓代謝内科 ■ 血液内科 ■ 小児科 ■ リウマチ・膠原病内科 ■ 心療内科 ■ 放射線科 ■ 老年・高血圧内科	■ 内科 ■ 消化器内科 ■ 循環器内科 ■ 神経内科 ■ 糖尿病・内分泌内科 ■ 血液内科 ■ 小児科 ■ 精神科 ■ 放射線科	■ 内科 ■ 消化器内科 ■ 呼吸器内科 ■ 循環器内科 ■ 神経内科 ■ 小児科 ■ 精神科 ■ 放射線科	■ 内科 ■ 精神科 ■ 老年精神科
外科系	■ 外科 ■ 呼吸器外科 ■ 心臓血管外科 ■ 脳神経外科 ■ 整形外科 ■ 形成外科 ■ 泌尿器科 ■ 皮膚科 ■ 産婦人科 ■ 耳鼻いんこう科 ■ 眼科 ■ 麻酔科 ■ リハビリテーション科	■ 外科 ■ 脳神経外科 ■ 整形外科 ■ 形成外科 ■ 泌尿器科 ■ 皮膚科 ■ 産婦人科 ■ 耳鼻いんこう・頭頸部外科 ■ 眼科 ■ 麻酔科 ■ リハビリテーション科	■ 外科 ■ 整形外科 ■ 泌尿器科 ■ 皮膚科 ■ 婦人科 ■ 耳鼻いんこう科 ■ 眼科 ■ 麻酔科 ■ リハビリテーション科	
歯科系	■ 歯科、歯科口腔外科	■ 歯科口腔外科	■ 歯科口腔外科	
その他	■ 総合診療科 ■ 病理診断科	■ 総合診療科 ■ 救急科 ■ 集中治療科 ■ 病理診断科	■ 総合診療科	

7 出所：各病院ホームページ（議論の材料とするため、ホームページ等で外部発信している診療科を記載していることから、近畿厚生局への届出診療科とは一致しないことがある）

現状の各病院における診療科、センター等（2/2）

	市立長浜病院	長浜赤十字病院	湖北病院	セフィロト病院
センター等	■ 救急センター ■ 内視鏡センター ■ 人工透析センター ■ 外来化学療法センター ■ リウマチセンター ■ 睡眠時無呼吸症候群 ■ がんゲノム診療センター ■ コロナ後遺症外来	■ 救命救急センター ■ 地域周産期母子医療センター ■ 消化器内視鏡センター ■ 腎・透析センター ■ 総合外傷センター ■ 関節外科センター ■ 外来治療室	■ 救急室 ■ 内視鏡室 ■ 人工透析センター ■ 外来化学療法室	■ 認知症疾患医療センター

8 出所：各病院ホームページ（議論の材料とするため、ホームページ等で外部発信している診療科を記載していることから、近畿厚生局への届出診療科とは一致しないことがある）

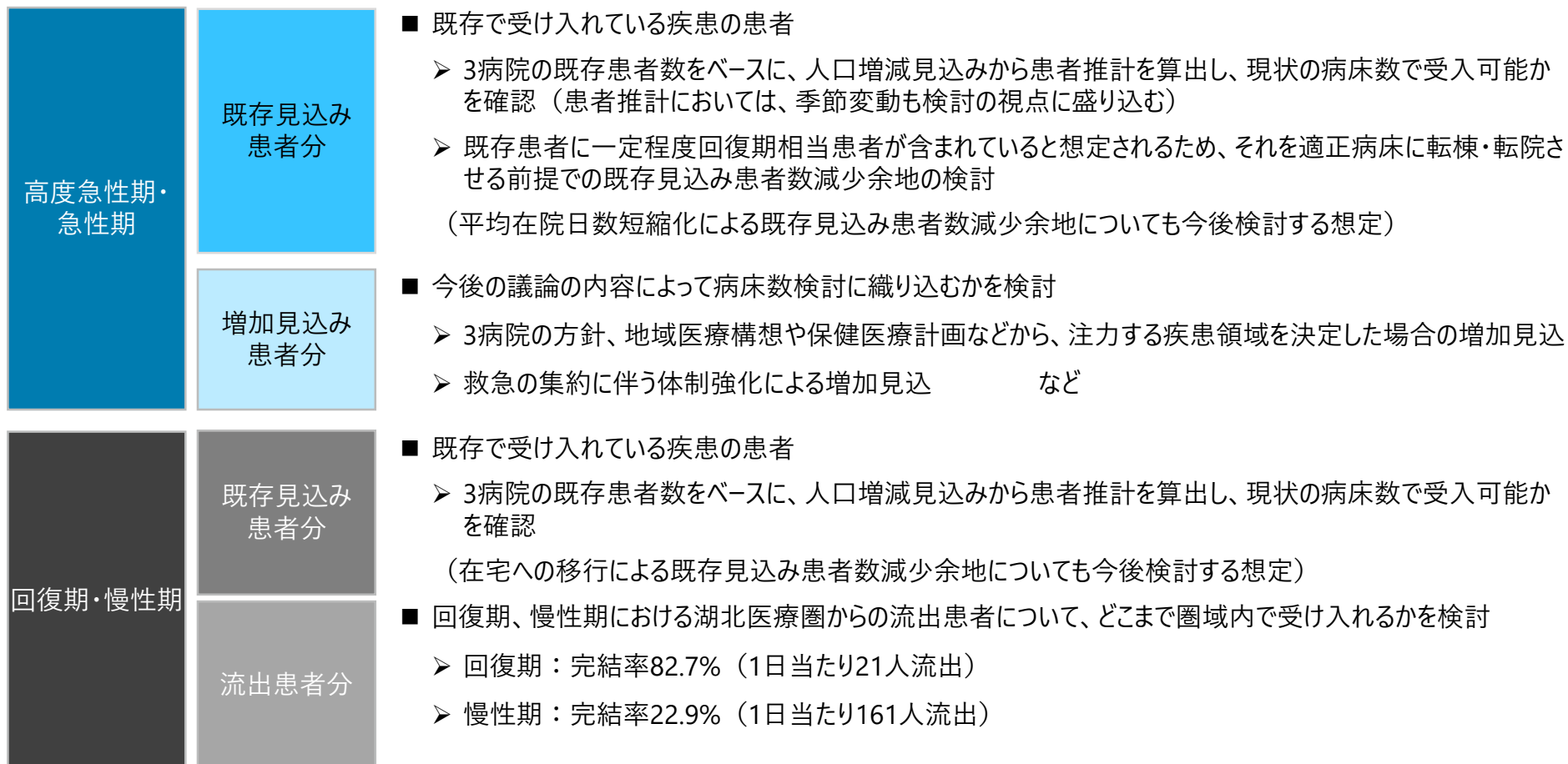
病床数の検討

【再掲：第2回診療体制検討部会資料】

本資料の位置づけ

必要病床数を検討するにあたっては、既存の見込み患者に加え、今後3病院で受け入れを拡充させる領域や既存流出患者分を考慮して検討を進める形を想定しています。本資料では、既存の見込み患者の推計、及び、その推計に基づく既存病床の稼働見込の検討結果（下記赤枠部分）をご報告いたします。今後、患者推計に基づき一定の幅をもってA病院・B病院の病床規模を検討します。

必要病床数検討における見込患者数の考え方



出所：滋賀県地域医療構想（平成28年3月）

【再掲：第2回診療体制検討部会資料】

3病院の患者推計の考え方

3病院の病床数は、今後3病院で見込まれる入院患者推計値を基に検討を進めます。患者推計は、3病院の入院受療状況から受療率を算出のうえ、湖北医療圏の人口推計を加味して算出します。

入院患者推計方法

■ 前提条件

- 3病院全体での医療受入体制が今後も継続する。
 - 3病院全体で受け入れ可能な疾患を今後も継続して受け入れが可能である。
- 湖北医療圏内の医療機関におけるシェアは今後も同じである。
 - 湖北医療圏に居住の患者は一部流出があるものの、**圏内の医療機関で受療する際には精神科を除いて3病院で受療する。**
 - － なお、地域医療構想の患者動向の推計によると、高度急性期・急性期・回復期患者の一部、及び、慢性期患者の多くが圏域外に流出している。

■ 使用データ

- 2023年度の3病院DPCデータ（Dn、EFn、FF1）
 - 湖北病院はDPC対象病院ではないため、Dnファイルは長浜赤十字病院および市立長浜病院のみの分を使用している。
- 2023年度湖北医療圏人口
 - 長浜市・米原市が保有する人口の実績値を使用する。
- 湖北医療圏人口推計
 - 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を使用する。

■ 算出方法

- 受療率（人口10万人・1日あたりの患者数）
 - $2023\text{年度の}3\text{病院入院患者数} \div 2023\text{年度の湖北圏域人口} \times 100,000$
(ICD-10分類別・性別・年齢階級別に算出)
- 3病院の患者推計（人/日）
 - $\text{ICD-10分類別} \cdot \text{性別} \cdot \text{年齢階級別受療率} \times \text{対象エリアの各年齢階級} \cdot \text{性別人口推計} \div 100,000$

機能別病床規模の検討（考え方案）

機能別に必要病床数を検討するにあたっては、既存の見込み患者をベースに、一定の幅をもって検討を進めます。

3病院の推計入院患者数を踏まえた病床規模の検討プロセス（概要）

